

平成 27 年度第一回艇代表者会議議事録

記録 木村/青葉

日時平成 27 年 4 月 12 日（日）13：00～14：00

場所 MORC 事務所

出席者 12 名（次頁に記載）

1. 小林委員長挨拶 略

2. 審議

(1) 平成 26 年度事業報告 略

(2) 同 26 年度会計収支報告

①収入として増加したのは事業費中の雑収入で新規項目のトイレ・合宿に伴う負担金 25 万 8 千円、またフリート運営費が 42 万 3 千円の増で総計 69 万円の増加。

昨年取り決めた施設使用料や団体からの協力金が順調に徴収できた結果である。

②支出では汲み取り料が 57 万円に増加。利用学生数の増加が要因。

③またテンドー用エンジンを購入し 21 万円の増。

④水道・電気代の支出も増加。水道はダイニングの洗浄、電気は棧橋電力代の増加。

⑤棧橋の維持管理について管理は小浜常任委員会が行なっていくが維持の部分については MORC が行なうことを確認。

⑥通帳と印鑑の管理について

本来は別々に管理すべきものと考えるが人手がないため決済は WEB で行なっている。出金は委員長からの指示で事務局員が行ない、これらは三役が同時に確認している。また月 1 回通帳と出金簿を確認し、間違いの無いように行なっている。

⑦残高証明書の添付が無いがこれは製本上のミス、次回から気を付ける。

⑧監査は今後 MORC の監事に行なって頂く。

この後、全会一致で 26 年の事業報告、会計収支報告を承認した。

(4) 平成 27 年度予算案審議

①事業収入としては 26 年並みの 286 万円、フリート運営費の収入が 24 万円と半減の見込み。寄付、前年度分運営費、加入金を見込まないため。

②パワーボートの管理費は決まっていなかったが今後 1 万円/年の協力をお願いする。

③支出としては施設整備として棧橋への救命用ラダーの設置費 105 万円を計上した。但し安価に入手できそうなのでそこまではかからない見込み。

④支出総計は 26 年並みに落ち着いた。

⑤予算に余裕ができたので小浜に必要なものを予算化する可能性あり。

以上の論議を経て、全会一致で 27 年の事業計画、予算案を承認した。

平成 26 年度第一回艇代表者会議出席者名簿

	氏 名	艇 名
1	乾 清重	Emichan
2	佐藤 敬	バーネット
3	武藤潤隆	グランパ
4	齋藤充也	ノーチラス
5	佐久間重信	オハナ
6	飯島俊彦	ヒポクラテス
7	谷内隆司	七小町
8	木村重男	青葉Ⅳ
9	櫻田幹夫	アルテミス
10	赤石 隆	カヤ
11	山下 博	春風
12	小林恒俊	エスポワール